

# 平成29年度 事業報告

## I 事業の概要

「県の文化行政における出資法人のあり方」により、(公財)滋賀県文化振興事業団の文化芸術部門と(公財)びわ湖ホールとの統合および希望が丘文化公園のみを管理する法人への組織再編が行われ、事業団を承継する新法人希望が丘文化公園の新たな出発の1年目として、県が進める当公園の基本計画の策定に注視しつつ、次期指定管理者の提案申請の検討を進めるなど、将来を展望しながら組織の基礎固めに取り組んだ。

第3期指定管理の4年目、ビジョン、ミッションの達成に向けて、“WELCOMEスマイル”をキーワードとして定着発展させ、より一層、来園者をいつでも爽やかに迎えるとともに、利用者の声に耳を傾けながら、より魅力的なサービスの提供に努めた。

管理面では、開園から46年が経過したことから、施設・設備の安全対策を最優先に改修、改善を推進するとともに、施設周辺や道路沿いの間伐等森林整備に継続して取り組んだ。併せて、公園の特性、機能を最大限に発揮するために、これまでに得た確かな熟知、実績、熱意を持って、県民の財産である公園の繁栄のために、夢と誇りを持って堅実な管理運営に配意した。

一方、事業面では新法人記念事業として、文化ゾーンを中心に自然豊かな公園で自然体験や野外活動に関する様々なプログラムを一堂に集めた「自然体験フェスティバル」を開催し、自然と人とのふれあいを深める機会を提供した。また、この機会に「希望が丘キャンプカウンセラー、キャンプリーダーOB会」を企画し、県内外の各地で活躍している仲間たちと旧交を温めるとともに、貴重な情報交換と人脈づくりの機会を得ることができた。さらに、スポーツゾーンにおいては、新たに「滋賀県高等学校駅伝大会」を共催するなど、安心・安全な中央道や自然豊かで広大なフィールドを有効に活かした事業の開催や各種団体が主催する大会などを後援または協力してきた。

また、次代を担う子どもたちには、自然体験活動を促進する“きぼっこ体験事業”を12事業、子どもから高齢者までの世代をつなぐイベントは“10大祭”として、全国から希望が丘へ誘い、希望が丘を全国に発信する少年および少女のサッカー大会や健康グラウンド・ゴルフ大会は“5大イベント”として、施設やフィールドの機能を活かした多彩な事業を展開した。

さらに、昨年に引き続き、第25回全国中学校駅伝大会が開催され、全国からの選手、関係者等を温かく迎えるとともに、後援団体として大会運営の支援に万全を期した。

■ 経営目標	目標値	実績(前年度)	達成率
① 自主財源率	30.3%	31.4% (30.5%)	103.6%

当初の収入目標値に対しては、98.7%、約215万円の減収となったが、管理面では施設・設備の安全対策を最優先させ、事業面では効率的な運営に努めながら、効果的な執行に留意・配意した。

② 来園者数	904,000人	892,052人 (890,536人)	98.7%
--------	----------	---------------------	-------

5月、10月において、雨天や台風の影響で、多くの集客を見込んだイベントが中止になり、目標を下回った。しかし、「県高等学校駅伝大会」や「全国中学校駅伝大会」の開催効果もあって、秋以降のスポーツゾーンへの来園者が増え、昨年度に比べると約1,500人増加した。

来園者数	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数
東ゲート	8,106	213,600	8,539	172,978	8,788	183,349	9,585	177,838
西ゲート	82,736	650,153	86,999	687,039	81,792	676,854	80,593	686,248
南ゲート	1,495	28,468	1,786	30,343	1,920	30,333	1,990	27,966
合計	92,337	892,221	97,324	890,360	92,500	890,536	92,168	892,052

③ 施設利用者数	240,000人	238,476人 (230,124人)	99.4%
----------	----------	---------------------	-------

目標対比で青年の城85.5%、野外活動センター63.6%と夏期における大規模団体の利用がなかったことで数値を落とすこととなり、重ねて青年の城では10月の日帰り利用と県外宿泊の利用減も影響した。スポーツ施設は114.8%と、陸上競技関係の利用により、陸上競技場、草野球場、体育室、会議室および更衣室が伸びた。

利用者数	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
青年の城	53,007	55,390	53,819	53,776	49,579
野外活動	34,374	34,807	27,587	26,376	24,799
スポーツ	123,385	132,498	131,091	149,972	164,098
施設計	210,766	222,695	212,497	230,124	238,476

利用者数内訳		平成28年度		平成29年度	
青年の城	県内(人)	17,350	32.2%	15,566	31.4%
	県外(人)	36,526	67.8%	34,013	68.6%
	計	53,876		49,579	
利用料金収入額(円)		37,655,410		35,929,075	
野外活動センター	県内(人)	9,177	34.8%	8,848	35.7%
	県外(人)	17,199	65.2%	15,951	64.3%
	計	26,376		24,799	
利用料金収入額(円)		12,137,070		10,996,795	

スポーツ施設	県内(人)	135,772	90.6%	147,449	89.9%
	県外(人)	14,164	9.4%	16,649	10.1%
	計	149,936		164,098	
	利用料金収入額(円)		18,232,265		18,184,715

主なスポーツ施設	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
野球場	8,604	10,536	8,817	9,634
草野球場	15,843	11,699	11,424	18,535
陸上競技場	36,979	41,749	49,642	50,295
球技場	16,472	8,991	18,055	17,783
テニスコート	33,523	33,841	33,054	31,391

④ 事業参加者数 105,000人 77,848人 (98,455人) 74.1%

5月の「新緑祭」は、2日間開催が雨天により1日に、10月には台風の影響で「ふれあい祭」が2日間ともに中止となり、大きな痛手となった。また、「秋のプチキャンプ」も中止となった。

事業参加者数	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	81,462	96,311	100,626	98,455	77,848

⑤ 満足度向上 90%以上 90.9% (93.3%) 101.0%

各施設の利用者からは、施設利用面や職員対応について、また、事業の参加者からは事業内容や職員対応について、アンケートを取り、その満足度を算出した。

## ■ 管理運営面

- ① 公園施設や設備は築後46年を経て老朽化が顕著で、危険箇所や損傷が多発しているため、利用者の安全確保・事故防止に最大限の配慮を行った。また、子ども広場の安全点検の強化をはじめ、見直しや活性化策の検討を行いつつ修繕を実施した。
- ② 四季折々に変化に富んだ広大で豊かな自然環境を、憩い、癒やしの空間として、保持・保全に努めた。特に、かえでの森、南・北スカイライン、中央道から南駐車場間、友情の橋周辺をはじめ、第1・2キャンプ道等の間伐整備や伐採等を行い、景観に配慮しながら魅力的な森づくり、公園づくりに取り組んだ。
- ③ 2年目となる「全国中学校駅伝大会」の後援をはじめ、広大なフィールドにそれぞれの趣旨に合ったコースを設定し、かつ安全に大会運営が可能であることから開催された「トレイルランニング」「滋賀30K」および「42.195Kmリレーマラソン」などの各種大会に協力した。
- ④ 陸上競技の投擲練習会場の確保に苦勞されている声に応えて、草野球場に投擲サークルを移設した。関係者に歓迎され、競技者には好評を得るなど利用拡大を図った。

## ■ 事業推進面

- ① 新法人記念事業として、文化ゾーンを中心に自然豊かな公園で自然体験や野外活動に関する様々なプログラムを一堂に集めた「自然体験フェスティバル」を開催し、自然と人とのふれあいを深める機会を提供した。また、「希望が丘キャンプカウンセラー、キャンプリーダーOB会」を企画し、県内外の各地で活躍している仲間たちと旧交を温めるとともに、貴重な情報交換と人脈づくりの機会を得ることができた。
- ② 2泊3日で開催していた「夏休み自然塾」をより専門的な研究を深め、一人ひとりがテーマを持って個人レポートをまとめることができるよう3泊4日に延長し、プログラムの充実を図ったところ大変好評で有意義な事業となった。
- ③ 青年の城および野外活動センターで展開する自然体験活動「きぼっこ体験事業」をメニュー化したパンフレットを作成し、湖南、東近江および湖東地域の教育委員会、校長会および小学校等を訪問して広報、PRに努めた。
- ④ 広大な天然芝のフィールドと自然道、散策道を整備した常設クロスカントリーコースを活用した「クロスカントリー大会」に加え、東西4kmの中央道をフルに使った「県高等学校駅伝大会」を新規に共催するなど公園の特性を存分に発揮した。
- ⑤ 次世代を担う子どもたちに、たくましく生きる力を養うために必要な知識や実践体験を積み重ねる学生のキャンプリーダーの研修の充実、豊富な知識・経験・技能を持った公園サポーターの活躍の場の提供など、人材育成に継続して取り組んだ。

## II 事業の実績

### 1 指定管理事業

#### (1) 施設利用

種別	件数 件	利用者数 人	施設使用料		付帯施設使用料		計 円
			円	円	円	円	
(青年の城 施設利用 研修室・ 宿泊室)	日帰り計	66 (122)	4,157 (6,471)	186,375 (345,335)	39,570 (19,510)	225,945 (364,845)	
	県内	52 (84)	2,542 (4,197)	140,885 (269,775)	38,570 (17,440)	179,455 (287,215)	
	県外	14 (38)	1,615 (2,274)	45,490 (75,560)	1,000 (2,070)	46,490 (77,630)	
	宿泊計	415 (434)	45,422 (47,305)	35,089,740 (36,767,435)	613,390 (523,130)	35,703,130 (37,290,565)	
	県内	164 (187)	13,024 (13,153)	6,585,070 (6,838,140)	136,820 (230,820)	6,721,890 (7,068,960)	
	県外	251 (247)	32,398 (34,152)	28,504,670 (29,929,295)	476,570 (292,310)	28,981,240 (30,221,605)	
	小計	481 (556)	49,579 (53,776)	35,276,115 (37,112,770)	652,960 (542,640)	35,929,075 (37,655,410)	
等 (施設利用 野設 キャン プ活動 センター 会議室)	日帰り計	223 (273)	15,198 (15,667)	5,764,725 (5,972,490)	8,630 (9,280)	5,773,355 (5,981,770)	
	県内	123 (150)	4,804 (4,966)	1,098,790 (1,234,350)	7,220 (7,540)	1,106,010 (1,241,890)	
	県外	100 (123)	10,394 (10,701)	4,665,935 (4,738,140)	1,410 (1,740)	4,667,345 (4,739,880)	
	宿泊計	237 (302)	9,601 (10,709)	4,833,160 (5,673,220)	390,280 (482,080)	5,223,440 (6,155,300)	
	県内	78 (96)	4,044 (4,211)	1,281,960 (1,366,510)	153,330 (214,150)	1,435,290 (1,580,660)	
	県外	159 (206)	5,557 (6,498)	3,551,200 (4,306,710)	236,950 (267,930)	3,788,150 (4,574,640)	
	小計	460 (575)	24,799 (26,376)	10,597,885 (11,645,710)	398,910 (491,360)	10,996,795 (12,137,070)	
施設利用 (スポーツ施設)	ソフトボール場 計	54 (60)	2,291 (1,645)	350,840 (379,920)	0 (0)	350,840 (379,920)	
	県内	49 (51)	2,085 (1,447)	313,800 (296,200)	0 (0)	313,800 (296,200)	
	県外	5 (9)	206 (198)	37,040 (83,720)	0 (0)	37,040 (83,720)	
	野球場計	136 (126)	9,634 (8,817)	1,164,480 (1,089,310)	130,090 (178,330)	1,294,570 (1,267,640)	
	県内	123 (116)	8,381 (8,218)	953,800 (931,510)	120,530 (173,650)	1,074,330 (1,105,160)	
	県外	13 (10)	1,253 (599)	210,680 (157,800)	9,560 (4,680)	220,240 (162,480)	
	草野球場計	115 (98)	18,535 (11,424)	763,100 (691,240)	0 (0)	763,100 (691,240)	
	県内	90 (77)	15,947 (9,414)	453,980 (445,900)	0 (0)	453,980 (445,900)	
	県外	25 (21)	2,588 (2,010)	309,120 (245,340)	0 (0)	309,120 (245,340)	
	陸上競技場計	363 (309)	50,295 (49,642)	1,821,420 (1,930,380)	211,260 (105,360)	2,032,680 (2,035,740)	
	県内	270 (235)	46,880 (45,566)	1,031,450 (1,095,340)	180,160 (91,860)	1,211,610 (1,187,200)	
	県外	93 (74)	3,415 (4,076)	789,970 (835,040)	31,100 (13,500)	821,070 (848,540)	
	球技場計	74 (68)	17,783 (18,055)	667,260 (496,300)	70,950 (3,460)	738,210 (499,760)	
	県内	55 (64)	15,126 (17,551)	369,240 (450,260)	49,900 (3,460)	419,140 (453,720)	
	県外	19 (4)	2,657 (504)	298,020 (46,040)	21,050 (0)	319,070 (46,040)	
	体育室計	194 (179)	20,173 (18,933)	1,643,075 (1,597,665)	32,660 (17,880)	1,675,735 (1,615,545)	
	県内	160 (144)	16,853 (14,922)	1,052,755 (926,495)	30,910 (14,420)	1,083,665 (940,915)	
	県外	34 (35)	3,320 (4,011)	590,320 (671,170)	1,750 (3,460)	592,070 (674,630)	
	格技場計	18 (15)	2,736 (1,111)	88,540 (51,490)	0 (0)	88,540 (51,490)	
	県内	11 (12)	1,860 (971)	38,160 (35,690)	0 (0)	38,160 (35,690)	
県外	7 (3)	876 (140)	50,380 (15,800)	0 (0)	50,380 (15,800)		

## 施設利用（スポーツ施設）

会議室計	37 (32)	3,147 (2,174)	120,730 (65,950)	0 (0)	120,730 (65,950)
県内	25 25	2,386 (1,860)	67,050 (39,310)	0 (0)	67,050 (39,310)
県外	12 (7)	761 (314)	53,680 (26,640)	0 (0)	53,680 (26,640)
会議室A計	24 (21)	2,046 (1,624)	88,770 (42,200)	0 (0)	88,770 (42,200)
県内	15 (15)	1,435 (1,365)	50,970 (17,900)	0 (0)	50,970 (17,900)
県外	9 (6)	611 (259)	37,800 (24,300)	0 (0)	37,800 (24,300)
会議室B計	13 (11)	1,101 (550)	31,960 (23,750)	0 (0)	31,960 (23,750)
県内	10 (10)	951 (495)	16,080 (21,410)	0 (0)	16,080 (21,410)
県外	3 (1)	150 (55)	15,880 (2,340)	0 (0)	15,880 (2,340)
卓球場計	609 (609)	2,118 (1,852)	347,010 (341,420)	0 (0)	347,010 (341,420)
県内	565 (561)	1,922 (1,671)	312,610 (306,160)	0 (0)	312,610 (306,160)
県外	44 (48)	196 (181)	34,400 (35,260)	0 (0)	34,400 (35,260)
更衣室計	2 (10)	2,222 (275)	6,020 (14,190)	0 (0)	6,020 (14,190)
県内	2 (9)	2,222 (245)	6,020 (11,610)	0 (0)	6,020 (11,610)
県外	0 (1)	0 (30)	0 (2,580)	0 (0)	0 (2,580)
テニスセンター コート計	72 (82)	241 (268)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県内	56 (64)	183 (216)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	16 (18)	58 (52)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
人工芝コート 計	678 (861)	18,495 (19,025)	6,128,390 (6,102,020)	0 (0)	6,128,390 (6,102,020)
県内	629 (808)	18,022 (18,536)	5,660,550 (5,683,140)	0 (0)	5,660,550 (5,683,140)
県外	49 (53)	473 (489)	467,840 (418,880)	0 (0)	467,840 (418,880)
ハードコート計	137 (119)	2,078 (1,978)	313,180 (257,560)	0 (0)	313,180 (257,560)
県内	116 (103)	1,970 (1,900)	203,350 (195,000)	0 (0)	203,350 (195,000)
県外	21 (16)	108 (78)	109,830 (62,560)	0 (0)	109,830 (62,560)
屋内コート計	680 (662)	10,577 (11,783)	3,825,870 (4,260,420)	0 (0)	3,825,870 (4,260,420)
県内	652 (621)	10,289 (10,927)	3,424,670 (3,728,300)	0 (0)	3,424,670 (3,728,300)
県外	28 (41)	288 (856)	401,200 (532,120)	0 (0)	401,200 (532,120)
ピクニックラン ド計	179 (229)	3,773 (2,990)	214,050 (242,070)	0 (0)	214,050 (242,070)
県内	136 (179)	3,343 (2,364)	120,810 (157,910)	0 (0)	120,810 (157,910)
県外	43 (50)	430 (626)	93,240 (84,160)	0 (0)	93,240 (84,160)
屋内コート照明 設備他計				285,790 (407,300)	285,790 (407,300)
小計	3,348 (3,459)	164,098 (149,972)	17,453,965 (17,519,935)	730,750 (712,330)	18,184,715 (18,232,265)

駐 車 場 利 用	大型車計	409 (569)	0 (0)	654,400 (910,400)	0 (0)	654,400 (910,400)
	東ゲート	164 (241)		262,400 (385,600)		262,400 (385,600)
	西ゲート	245 (328)		392,000 (524,800)		392,000 (524,800)
	マイクロバス計	426 (443)	0 (0)	447,300 (465,150)	0 (0)	447,300 (465,150)
	東ゲート	49 (62)		51,450 (65,100)		51,450 (65,100)
	西ゲート	377 (381)		395,850 (400,050)		395,850 (400,050)
	普通車計	90,072 (90,113)	0 (0)	42,739,000 (42,523,500)	0 (0)	42,739,000 (42,523,500)
	東ゲート	9,083 (8,078)		4,230,250 (3,690,750)	0 (0)	4,230,250 (3,690,750)
	西ゲート	79,048 (80,141)		37,598,250 (37,933,000)	0 (0)	37,598,250 (37,933,000)
	南ゲート	1,941 (1,894)		910,500 (899,750)	0 (0)	910,500 (899,750)
	自動二輪車等 計	816 (860)	0 (0)	163,200 (177,800)	0 (0)	163,200 (177,800)
	東ゲート	214 (319)		42,800 (63,800)		42,800 (63,800)
	西ゲート	562 (556)		112,400 (111,200)		112,400 (111,200)
	南ゲート	40 (14)		8,000 (2,800)		8,000 (2,800)
	回数券計(5000円)	220 (247)	0 (0)	1,100,000 (1,235,000)	0 (0)	1,100,000 (1,235,000)
	東ゲート	43 (43)	0 (0)	215,000 (215,000)	0 (0)	215,000 (215,000)
	西ゲート	175 (200)	0 (0)	875,000 (1,000,000)	0 (0)	875,000 (1,000,000)
	南ゲート	2 (4)	0 (0)	10,000 (20,000)	0 (0)	10,000 (20,000)
	回数券計(2000円)	225 (239)	0 (0)	450,000 (478,000)	0 (0)	450,000 (478,000)
	東ゲート	32 (45)	0 (0)	64,000 (90,000)	0 (0)	64,000 (90,000)
	西ゲート	186 (186)	0 (0)	372,000 (372,000)	0 (0)	372,000 (372,000)
南ゲート	7 (8)	0 (0)	14,000 (16,000)	0 (0)	14,000 (16,000)	
小 計	92,168 (92,500)	0 (0)	45,553,900 (45,789,850)	0 (0)	45,553,900 (45,789,850)	
(施 設 利 用 車 用)	青年の城	408 (574)	408 (574)	122,445 (162,420)	0 (0)	122,445 (162,420)
	スポーツ会館	3,653 (2,565)	3,653 (2,565)	1,069,945 (845,210)	0 (0)	1,069,945 (1,083,125)
	小 計	4,061 (3,139)	4,061 (3,139)	1,192,390 (1,007,630)	0 (0)	1,192,390 (1,007,630)
施設利用計	100,518 (100,229)	242,537 (233,263)	110,074,255 (113,075,895)	1,782,620 (1,746,330)	111,856,875 (114,822,225)	

## (2) 宿泊体験・自然学習事業

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者 人	備考
“きぼっこ体験事業” 希望が丘里山楽校	平成29年5月20日(土)～21日(日) 1泊2日  小学生を対象に、里山体験や仲間との共同生活を通して自立・協調の芽生えを促し、自然とふれあうことで生き物や環境に配慮した行動がとれるようなプログラムを実施した。	6,000	60 (58)	入場者等 見込数  60
【事業成果】 1グループにつき30人が約1時間を費やし「田植え体験」に挑戦した。泥まみれになりながら、楽しそうに田植えをしていた表情が印象的であった。また、夜間には「ナイトウォーク」を実施し、夜の公園の様子を肌で感じ、自然の声や音に聴き入って五感を活かした活動を行った。また、そのほかに「木の伐採」「箸づくり」「グリーンラリー」を通して、自然と人のつながりを楽しみながら学習し、様々な里山体験で環境に対する興味関心を高めることができた。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休み自然塾	平成29年7月26日(木)～29日(土) 3泊4日  県内在住在学の小学3年生から小学6年生までの参加者が、基礎学習とフィールドワークを行ったあと、希望する6つの専門分野①「植物」②「野鳥」③「昆虫」④「水生生物」⑤「プランクトン」⑥「岩石と化石」のいずれかに分かれて、調査研究を進め、最終日には、個人のレポートとして仕上げ、保護者が見学するなか成果発表を行った。	20,000	78 (74)	入場者等 見込数  60
【事業成果】 小学3年から小学6年生までの参加者が、自然好きの豊富な知識と経験ある先生の指導により自然調査を行い、最終日に成果を発表。最初に全員が全分野の基礎を学ぶことで広く知識を得ることができ、希望する専門分野で深く学習することができた。昨年までは、体験重視のため専門分野別に「学習発表会」をして終了であったが、今年度から2泊3日を3泊4日に延長したことで、時間をかけてより深く調査研究をすることができ、個人レポートの完成までやり遂げることができた。参加者のみならず、保護者や先生からの反響も大きいものがあった。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休み林間スクール	平成29年8月6日(日)～7日(月) 1泊2日  夏休みに、子どもたちが生活体験や自然体験を通して自主性、協調性、生きる力を身に付ける一助となるプログラムを実施した。	6,000	67 (67)	入場者等 見込数  60
【事業成果】 グループの高学年・中学年児童の手ほどきを受けながら、低学年の多くの女子が虫網を手にして、元気に走り回っていた。なかなか捕まらないことが、むしろ参加者の意欲を引き立てたようであった。そのほか、すぐに音の出にくい「アヒル笛」「カッコー笛」を選択して作らせ、集中して制作に取り組み、懸命に音出しにトライするようにし、やり遂げる喜びや努力することの大切さを伝えることができた。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬の里山楽校	平成29年12月9日(土)～10日(日) 1泊2日  小学生を対象に、里山体験や共同生活の体験を通して異年齢間の交流を図り、自主性、協調性を養う機会とした。また、「森の学習」のプログラムを取り入れて自然とふれあい、その大切さを考える場とした。	6,000	62 (62)	入場者等 見込数  60
【事業成果】 プログラムに冬の里山体験活動(薪割り体験、のこぎり体験、柴刈り体験など)を積極的に取り入れることで、自然や環境への興味関心を高めることができた。また、飾り炭やクラフト体験では、個性豊かな作品が多く見られた。昔の人の生活は自然との深い関わりがあることを存分に体験してもらうことができた。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬の林間スクール	平成30年1月20日(土)～21日(日) 1泊2日  冬の希望が丘で、子どもたちが生活体験や自然体験を通して自主性、協調性、生きる力を身に付ける一助となるプログラムを実施した。	6,000	70 (64)	入場者等 見込数  60
【事業成果】 昔ながらの遊びである「コマ回し」や「たこあげ」は子どもたちに好評であった。子どもたちの遊びの面白さに今も昔も関係ないことを実感した。冬を楽しみながら、林間を体験することをテーマに置きながら、今回「生活体験を通して日々の生活や態度を見つめ直すこと」、「遊びや自然体験活動を通して仲間づくりや自立を促すこと」、「学校や家庭と異なる環境において自発的に考え活動することで、生きる力を育むこと」と3つの大きな課題に取り組むことができた。子どもたちの健全育成のうえで一助となったと思われる。				
“きぼっこ体験事業” ちびっこファミリー自然とあそぼう	平成29年5月28日(日)、6月25日(日)、9月24日(日)、10月9日(月・祝)、12月3日(日) 全5回  未就学児とその家族を対象に、季節に応じた体験活動を通して身近な自然や生きものへの興味・関心を高める機会を提供した。	200	90 (150)	入場者等 見込数  100
【事業成果】 初夏から初冬にかけて、5回にわたり季節に応じて、自然に親しみ、新しい気づきや発見が得られるような内容で活動を行った。虫取り網での虫つかみや川に入っている生き物探し、ネイチャーゲームやクラフトの手法を取り入れ、子どもたちを飽きさせないよう工夫して活動することができた。				

## (3) 野外体験・キャンプ事業

希望が丘ふれあいキャンプ ～障がいのある子どもたち・病 気の子もたちとともに～(共 催)	平成29年4月16日(日)、9月2日(土)～3日(日)  一人でキャンプをすることができない病気や障がいのある子どもたちとその家 族を対象に、日頃体験しにくい活動をプログラムに取り入れ、日帰り、1泊2日 のキャンプを実施した。	※ 有料  ※収入支出とも 共催者	82 (78)	入場者等 見込数  主催 滋賀病気の子ども たちの支援ネット ワーク 80
【事業成果】 病気や障がいを持つ子どもとその家族を対象にした継続10年目のキャンプ。医師や看護師で構成される「滋賀県難病連絡協議会」や「滋賀・病気の子どもたちの支 援ネットワーク」と協働実施した。自然の中で、普段は味わえない体験の機会を提供することにより、家族の絆や参加者間の交流が深まるとともに、子どもたちの自立 支援の一翼を担うことができた。				
希望が丘キャンプリーダー養 成講習会	平成29年4月23日(日)、5月13日(土)～14日(日)  キャンプリーダーへの登録に向けた入門研修会として、活動に必要な知識や 技術を身につけることを目的に実施した。	有料  ※実費負担金 徴収あり	142 (114)	入場者等 見込数  180
【事業成果】 野外活動センターにおけるリーダーとしての役割や機能を理解し、キャンプ活動に対する一般的な知識、技術を習得する初級編であるが、多くの参加者があり非常に 活気に満ちた期待の大きい研修会となった。				
希望が丘キャンプリーダー研 修会	通年  キャンプリーダー人材育成の一環として、年間を通して活動に必要な知識や技 術を身につけることを目的に講習会、研修会を実施した。	有料  ※実費負担金 徴収あり	1,060 (1,259)	入場者等 見込数  800
【事業成果】 ハードスキル(キャンプ生活技術・アクティビティ指導能力など)ソフトスキル(カウンセリングマインド・集団運営能力・リーダーとしての能力)個人の資質(一般的な指 導者として・キャンプの特性に対応する力)を向上させるための研修を行い、意欲向上と施設利用者・事業参加者へ配慮した行動が取れる人材が増した。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘アウトドアキッズキャ ンプ	平成29年6月17日(土)～18日(日) 1泊2日  キャンプ活動を通して自主性・協調性を身につけてもらうことを目的に、ちびっ こコース(小学1～3年生)とチャレンジコース(小学4～6年生)を設け、それぞ れに応じたプログラムを実施した。	8,000	97 (72)	入場者等 見込数  60
【事業成果】 参加者を学年に応じてコース分けし、難易度を考慮した公園の自然を活用したプログラムによって様々な気づきや学びの機会を提供し、直接体験を通して自分で考え 行動すること、責任・協力・自然・環境の大切さ等について学んでもらうことができた。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休みわんぱくキャン プ	平成29年8月14日(月)～20日(日) 6泊7日  小学4～6年生を対象に6泊7日の自然体験・野外活動体験を通して協調性・ 創造性、チャレンジ精神を養うキャンプを実施した。子どもゆめ基金の助成を 受け、活動内容を充実させた。	25,000	53 (60)	入場者等 見込数  60
【事業成果】 子どもたちの自主性・協調性・精神力を育む長期キャンプ。毎日の目標を立てることで日々の活動のねらいを理解させ、自らが考え行動できるようにプログラムを企画 し実施した。長期の活動を通して、与えられた役割を全うする責任、他者とのコミュニケーションや協力の大切さ、周囲や自然への感謝等多くの気づきを得るとともに、 達成感と自信にあふれた姿を見ることができた。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘ちびっこキャンプ	平成29年9月30日(土)～10月1日(日) 1泊2日  キャンプ活動を通して自主性・協調性を身につけてもらうことを目的に、初めて 保護者の元を離れる小学校低学年を対象にして実施した。	8,000	61 (55)	入場者等 見込数  60
【事業成果】 初めて野外活動を体験する子どもたちを想定し、自主性を尊重しながらキャンプリーダーが指導や安全管理を行うことにより、野外炊事やテント泊など充実したプログ ラムを実施することができた。低学年ながらチャレンジするたくましさや仲間との協調性が身に付き、様々な体験から多くの気づきや発見を得た。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘秋のプチキャンプ	平成29年10月22日(日)  秋をテーマにしたプログラムにより、キャンプが初めての家族にも安心して参 加できるデイキャンプを実施する計画であったが、台風21号の接近による警報 発令のため中止した。	800～1,200	0 (151)	入場者等 見込数  120
【事業成果】 台風21号の接近による警報発令のため中止した。				

キャンプインストラクター養成講習会(共催)	平成29年11月17日(金)～19日(日) 2泊3日 滋賀県キャンプ協会と連携して、日本キャンプ協会公認のインストラクター資格取得のための講習会を開催する予定であったが、応募者が最少実施人数(5名)に至らなかったため中止した。		0 (7)	入場者等 見込数 20 主催 滋賀県キャンプ協会
〔事業成果〕 滋賀県キャンプ協会と協働して、キャンプ指導者の養成講習会を開催する計画であったが、受講申込みが最少実施人数の5名に達しなかったため、中止した。 受講申込み:3名(県内1名 県外2名)				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘わいわいクリスマス クッキング	平成29年12月24日(日) クリスマスにちなんだプログラムにより、キャンプリーダーが一般参加者を対象に研修で身につけた知識・スキルを実践し、経験の蓄積とスキルアップを行った。	1,200～1,500	147 (112)	入場者等 見込数 120
〔事業成果〕 ファミリー向けデイキャンプとして、クリスマスにちなんだ野外調理(丸鳥のロースト等)、クラフトを実施した。キャンプリーダーが、講習会や研修会で学んだ知識・スキルを実践する場でもあり、対応プログラムとも好評であった。				
キャンプ活動の力～そのとき！ あなたにできること～(共催)	平成29年11月18日(土) 滋賀県キャンプ協会の組織や会員が培ってきた様々なキャンプの技術や経験を災害時に活かすプログラムを企画し、体験機会の提供を計画した。	※収入支出 とも共催者	36 (0)	入場者等 見込数 100 主催 滋賀県キャンプ協会
〔事業成果〕 普段の生活をはじめ緊急時にも役立つキャンプの技術を体験してもらうことを通して、身近なもので命をつなぐ方法を知り、防災意識を高めていただく機会を提供することができた。				
“きぼっこ体験事業” 希望が丘春のプチキャンプ	平成30年3月18日(日) キャンプが初めての家族にも安心して参加できるデイキャンプを実施した。キャンプリーダーが研修会で身につけた知識・スキルを活かす場として企画から実施までの過程に携わり、組織キャンプの運営や指導の学びを深めた。	800～1,200	137 (81)	入場者等 見込数 120
〔事業成果〕 事業参加者とふれあいながら、野外炊事をはじめとする活動全般の指導・支援を行い、親子のふれあいや他家族間の交流が深まるように場を盛り上げることに貢献した。				

#### (4)スポーツ・健康事業

第30回 滋賀県グラウンド・ゴルフ春季 大会(共催)	【予選】平成29年5月20日(土)・21日(日) 【決勝】平成29年5月28日(日) 予選は芝生ランドにコースを設営し、決勝は常設のグラウンド・ゴルフ場で開催した。生涯スポーツとして楽しめるグラウンド・ゴルフの普及を目指し、参加者の健康づくり、仲間づくりを目的に開催した。	無料	1,256 (1,456)	入場者等 見込数 1,500 主催 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会他
〔事業成果〕 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と連携して運営にあたり、参加者が芝生ランドの特設コースや希望が丘グラウンド・ゴルフ場常設コースを使用して、日頃の練習の成果を発揮すると共に相互交流を図ることができた。				
第15回希望が丘カップ ジュニアテニス大会	平成29年6月3日(土) テニス競技に関心を持っているが経験が浅く、試合経験の少ない小学3年生から6年生を対象にした大会とした。また、経験者と初心者コースに分けて、男女各シングルのリーグ戦方式で実施した。	2,000	143 (129)	入場者等 見込数 140
〔事業成果〕 過去にこの事業の参加者である滋賀県出身の清水悠太選手がプロとなり、全米オープンジュニアでダブルス準優勝など、優秀な成績を収め、日本テニス協会から2017年優秀選手として湖南市で指導するコーチとともに表彰された。今大会がスポーツの楽しさやジュニアへのテニス競技普及と発展の一端を担い、これまでの継続開催により責任を十分に果たしたと考えられる。				



<p>全国の仲間と深めよう 競いあおう 第8回びわ湖カップ 少年サッカー大会 U-11</p>	<p>平成29年8月15日(火)・16日(水)・17日(木)</p> <p>県内外のチームを招き、サッカー競技を通じてスポーツを楽しみ、交流と友情を深めた。1日目は、フレンドリーマッチとサッカークリニックを実施した。また、2日目は、ブロック予選リーグ・順位決定戦を行い、3日目はブロック順位による決勝トーナメントを実施した。</p>	<p>15,000 (10,000)</p>	<p>4,914 48チーム (3,740)</p>	<p>入場者等 見込数 3,000</p> <p>共催 滋賀県体育協会、 京都新聞</p>
<p>〔事業成果〕 3日間にわたり(本戦は2日間)、全国48チームが熱戦を繰り広げた。本戦は、奈良県のディアブロッサ高田FCが初優勝し、準優勝は、DREAM FC、第3位はJACPA東京FCであった。最優秀選手は、岩本悠庵選手(ディアブロッサ高田FC)であった。また、滋賀県勢では、アミティエスポーツクラブ草津が3位トーナメントにおいて、3位が最高順位であった。</p>				
<p>希望が丘ディスクゴルフ大会 2017</p>	<p>平成29年10月1日(日)</p> <p>全国スポレク祭ディスクゴルフ大会の会場であったことを契機に、同競技の普及と公園常設コースのPRを図るために継続開催した。 (①オープン: 41名) (②ウイメン: 7名) (③ジュニア: 9名)</p>	<p>県内 1,500 県外 2,000 大学生以下 1,000</p>	<p>57 (69)</p>	<p>入場者等 見込数 70</p> <p>共催 竜王町、竜王町教育委員会、滋賀県フライングディスク協会</p>
<p>〔事業成果〕 常設コース9ホールと特設コース9ホールを使用し、年齢・性別不問のオープン、女性対象のウイメン、中学生以下対象のジュニアの三部門で競いあった。滋賀県フライングディスク協会との連携により円滑に開催できた。今後も本大会を継続するにあたり、主催者側の発信力をより一層拡大させるとともに、関連団体との連携をより強めていく必要がある。</p>				
<p>第30回都道府県対抗全日本 マスターズ駅伝大会 第6回全日本マスターズロード レース大会(共催)</p>	<p>平成29年10月1日(日)</p> <p>35歳以上の男女が、競技成績に関係なく生涯楽しく同年代の人と競技ができ、誰でも気楽に「競技記録志向」「健康管理」「仲間作り」など、自分の体力と人生観によって競技を楽しんでもらう。</p>	<p>※ 有料  ※収入支出 とも共催者</p>	<p>815 (800)</p>	<p>入場者等 見込数 1,000</p> <p>主催 日本マスターズ陸上 競技連合</p>
<p>〔事業成果〕 男子の部は愛知県チーム、女子の部・エルダーの部はともに兵庫県チームが2年連続優勝という結果であった。その他、地元野洲市内の中学生の招待レースや韓国招待チームのオープン参加もあった。今年は小学生の招待駅伝も開催された。</p>				
<p>第30回 滋賀県グラウンド・ゴルフ秋季 大会(共催)</p>	<p>平成29年10月27日(金)</p> <p>公園の希望が丘グラウンド・ゴルフ場常設コースを使用し、8ホール4ラウンドで実施した。生涯スポーツとして楽しめるグラウンド・ゴルフの普及を目指す一方、参加者の健康づくり、仲間づくりに寄与した。 ※台風21号の直撃により、10月22日(日)から平日に日程変更。</p>	<p>無料</p>	<p>324 (324)</p>	<p>入場者等 見込数 500</p> <p>主催 滋賀県グラウンド・ ゴルフ協会他</p>
<p>〔事業成果〕 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と連携して運営にあたり、参加者が希望が丘グラウンド・ゴルフ場常設コースを使用して、日頃の練習の成果を発揮すると共に相互交流を図ることができた。この大会は、「ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会」「全国健康福祉祭滋賀県代表選考会」「全国グラウンド・ゴルフ交歓大会滋賀県代表選考会」を兼ねて行われた。当初予定していた日程が台風21号の直撃により、平日に日程変更となったため、他の大会等と重なり参加者が大幅に減ったが、当日は天候に恵まれ充実したプレーを繰り広げていた。</p>				
<p>第19回びわ湖カップ 健康グラウンド・ゴルフ大会</p>	<p>平成29年11月4日(土)</p> <p>全国のグラウンドゴルフ愛好者を対象に、日頃の成果の発揮や健康・仲間づくりの推進を目的として、希望が丘グラウンド・ゴルフ場常設コースにおいて、8ホール4ラウンドを1日開催で実施した。また、6人による団体戦を個人戦の成績を併用して実施した。</p>	<p>大会参加料 1,500 (1,500)  団体登録料 300 (300)</p>	<p>411 (430)</p>	<p>入場者等 見込数 400</p> <p>共催 滋賀県グラウンド・ ゴルフ協会</p>
<p>〔事業成果〕 希望が丘グラウンド・ゴルフ場常設コースの8ホール4ラウンドを1日で開催した。東京都から愛媛県までの12都府県からの参加者があった。全国から集った愛好者に日頃の成果を発揮し、交流を図る機会を提供することができた。</p>				
<p>男子第68回滋賀県高等学校 駅伝競走大会 女子第35回滋賀県高等学校 駅伝競走大会(共催)</p>	<p>平成29年11月5日(日)</p> <p>滋賀県内高等学校から選手が集い、全国および近畿大会に出場資格の予選会を他所から今年度から希望が丘文化公園中央道に会場を変更して開催した。</p>	<p>※有料  ※収入支出 とも共催者</p>	<p>1,401</p>	<p>入場者等 見込数 1,401</p> <p>主催 滋賀県高等学校体育 連盟、滋賀陸上競技 協会、滋賀県教育委 員会、毎日新聞社</p>
<p>〔事業成果〕 大会関係者から「試走に生徒を連れて来ても安全に走らせる事が出来る」「コースに起伏もあるが記録の出せるコース」「駐車場もたくさん駐車するスペースがあり、応援する保護者の対応についても心配することもなくできる」等、好評であった。来年度以降も継続して実施の予定である。</p>				

びわ湖男女駅伝フェスティバル 2017(共催)	平成29年11月19日(日) 駅伝のおもしろさや楽しさを通して、市民ランナーやジョギング愛好者に門戸を広げ、健やかなライフスタイルの充実を図ることを目的に開催した。	※収入支出 とも共催者  (一部財団負担)	1,503 (1,331)	入場者等 見込数  1,300 主催 滋賀県体育協会、 京都新聞
【事業成果】 びわ湖男女駅伝フェスティバル一般の部、第12回滋賀県小学生駅伝大会、第10回滋賀県中学生駅伝大会、第61回滋賀県民駅伝競走大会の4大会を同時開催して、県民の皆様にはスポーツの基本となる「走ること」の楽しさと「たすきリレー」による連帯感向上を目的とすることができるとともに、多くのお客様に駅伝と接する場を提供できた。県民駅伝は、7市町(19市町中)の参加であった。また、テスト前と重なり中学生も3チームの参加であった。当公園からのおもてなしとして、選手に無料で豚汁を提供し、好評を得た。				
第29回全日本びわ湖クロスカ ントリー大会(共催)	平成29年12月10日(日) 近畿を中心に全国から選手が集い、中・長距離選手の強化・発掘・育成を目的として全コースが芝生コース設定のクロスカントリー大会を開催した。	※有料  ※収入支出 とも共催者  (一部財団負担)	1,150 (1,470)	入場者等 見込数  1,500 主催 近畿陸上競技協 会、京都新聞
【事業成果】 2部男子Aを皮切りに各部門競技を実施した。1部男子の上位では、日頃から各大会で切磋琢磨を繰り返してきた京都産業大学と立命館大学の選手のせめぎ合いの様相となった。1部女子では大学生を中心とした若手ランナーの活躍が目立った。3部の中学生、4部の小学生のレースも上位を中心にレベルの高い内容となり、東京五輪が開かれる2020年を期待させるものがあった。				
希望が丘クロスカントリー大会 2017	平成29年12月23日(土)・(祝) 起伏に富んだコースを、中・長距離選手の強化・育成・発掘を行うと共に、親子で楽しく走る機会の提供や、健康づくり・体力増進を図る場として、参加者に提供する。	1,000	517 (448)	入場者等 見込数  800
【事業成果】 16府県、10代～80代までの方々が参加となった。3kmの部は小学生男女と中学生男女で、6kmの部は高校生男女と18歳以上男女で、10kmの部は高校生男女と18歳以上の男女の種目で実施した。				
フライングディスク大会 バレン タインカップ2018(共催)	平成30年2月10日(土)・11日(日) 滋賀県フライングディスク協会と協働しながら、広域から参加者を募る大会を開催し、交流を深める機会を提供するとともに、公園施設のPRを図ることをねらいとした。	※ 有料  ※収入支出 とも共催者	90 (0)	入場者等 見込数  80 主催 滋賀県フライング ディスク協会
【事業成果】 県外のチームに呼びかけ、8チームで大会を行う予定であったが、他府県でも同様の大会が開催されたため、本年度は県内の龍谷大学の学生とOBの45名の参加となった。4チームに分かれて、アルティメット競技のみを行った。初日は天候に恵まれず午前中みの競技を行い、2日目は天候の回復により、終日実施することができた。参加チームは少ない状況であったが、2日間を通して仲間のハツラツとしたプレーや好プレーに対する歓声があがるなど、和気あいあいと競技を楽しんでもらえた。				
全国の仲間と深めよう 競いあ おう 第7回びわ湖カップなでしこ サッカー大会(U-12)	平成30年2月17日(土)・18日(日) 広大な芝生ランドを活かし、全国から選りすぐられた少女サッカーチーム32チームによる大会を開催した。	15,000	2,550 32チーム (2,434)	入場者等 見込数  2,000 共催 滋賀県体育協会、 滋賀県サッカー協 会、京都新聞
【事業成果】 2日間にわたり、全国32チームが熱戦を繰り返した。本戦は、兵庫県の北摂ガールズが初優勝し、準優勝はMedleyGirl'S FC、3位は千葉中央FC U12ガールズ。敢闘賞はホザーリア、最優秀選手賞は吉田 琉衣さん(北摂ガールズ)となった。滋賀県勢では2位トーナメント3位の紫香楽レディースサッカークラブがINAC賞を初受賞した。				
滋賀県スポーツ少年団ラゲ ビーフットボール大会(共催)	平成30年3月4日(日) 滋賀県内スクールの年度末最後の大会としてチャンピオンシップを決める試合をおこない、競技レベルの向上と継続を目指すことを目的に県ラグビー協会ミニタグ委員会が運営する。高学年(5・6年生)、中学年(3・4年生)、低学年(1・2年生)の各カテゴリーに分かれトーナメント方式もしくは、総当たりで試合をおこなう。試合は12分ハーフ。	-	300 -	入場者等 見込数  400
【事業成果】 スクラムはないがその他は一般とほとんど変わらない。タックル有り、モール有り、チームの和を大切に迫力あるゲームを展開し観戦していても小学生の真剣な取り組みに関心をさせられた。				
希望が丘ジュニアサッカーフェ スタ U-10	平成30年3月18日(日) 小学4年生以下で構成されている24チームが各ブロック総当たりで勝敗を競い、1位チームによるトーナメントを実施した。	3,000	458 24チーム (562) (32チーム)	入場者等 見込数  400
【事業成果】 試合経験の少ない小学4年生以下の選手を対象に、将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、技術の向上と健全な心身の育成・発達を図り、子どもたちが楽しみ、成長できるゲーム、「フェアプレー」や「リスペクト」の精神が育まれるゲームを行うため、8人制のサッカーフェスタとして実施した。希望が丘の広々とした芝生ランドと球技場を使用し、すばらしい環境で華麗なプレーを披露する場を提供することができた。				

## (5)ふれあい・交流・交歓事業

希望が丘キッズフェスティバル	平成29年4月29日(土)・30日(日) 子どもたちに遊びやスポーツ・レクリエーションなどが体験できる場と家族や仲間と楽しく交流できる機会を提供するとともに、文化ゾーンのPRを図った。	無料	1,893 (817)	入場者等 見込数 1,200
〔事業成果〕 今年度は、文化ゾーンの多目的広場において、ゴールデンウィーク中に2日間実施した。来園者に数多くのスポーツ・レクリエーションやクラフト等の遊びや体験の場を提供することができた。体験コーナーを充実させることで、多くの家族や親子が例年以上に楽しんでもらうことができた。スポーツゾーンで開催する大掛かりなフェスティバル事業とは異なり、派手さはないが本来の公園らしさをゆっくと味わいながら、公園に親しみを感じてもらうことができた。				
希望が丘新緑祭	平成29年5月14日(日) ※5月13日(土)は雨天中止 新緑の美しい季節に、大道芸や昔遊びにチャレンジするコーナー、バランスボール体験、青空コンサート等を実施し、幅広い年齢層の方が集い、家族や仲間がふれあいと交流を深める憩いの場を創出した。	無料 参加料 100	9,138 (14,841)	入場者等 見込数 18,180
〔事業成果〕 新緑の季節に多くの老若男女の方が集い、家族や仲間がふれあい、交流を深める憩いの場を創出することで、公園のPRを図ることができた。大道芸や手作りジャングルジムやネイチャークラフト体験コーナーなどを楽しみに来園する方々にぎわっていた。				
希望が丘ファミリーキャンプフェスタ	平成29年7月8日(土)～9日(日) 1泊2日 自然の中で野外活動を通して、日常では味わえない体験や感動を家族や仲間と分かち合える場を提供した。	2,000～3,500	115 (118)	入場者等 見込数 160
〔事業成果〕 研修等を通して知識・スキルを身に付けたキャンプリーダーたちが、参加者に寄り添い、活動をともにすることでキャンプを楽しく体験していただく機会を提供することができ、キャンプへの関心を高めてもらうことができた。				
希望が丘スポーツフェスティバル	平成29年9月23日(土)・24日(日) 台風の影響により、翌週に延期しての開催となったが、国立青少年推進機構の事業「体験の風をおこそう運動」とタイアップして、50m走・バウンドラグビーボール投げ・ミニクロスカントリーを実施した。1,846人の方に参加していただき、どの種目も家族で楽しんでいた。	無料 参加料 200	12,319 (12,684)	入場者等 見込数 17,000
〔事業成果〕 降雨により1週間順延になったため、オープニングに依頼していた「近江むかで太鼓」の都合がつかず、よさこいの「KOUGA 彩風舞人」のみになったが、華やかに中央道を練ってもらい好評であった。また、芝生ランドやエントランス前で気軽にスポーツを体験できる場を提供できた。秋空の下、50m走、バウンドラグビーボール、ミニクロスカントリー大会、ニュースポーツ体験など家族そろって楽しんでいただけた。				
希望が丘ふれあい祭	平成29年10月28日(土)・29日(日) ※ 両日共、台風22号の影響による大雨のため中止した。	参加料 100	0 (13,970)	入場者等 見込数 17,000
〔事業成果〕 両日共、台風22号の影響による大雨のため中止した。				
希望が丘紅葉祭	平成29年11月1日(月)～30日(火) 紅葉の時に「かえでの森」を中心に多彩な催しを実施し、公園のPRや利用者拡大を図った。動物影絵探しやドングリ拾い用袋の配布を行った。また、11月11日・12日には野点やミニコンサートなどイベントを実施した。	無料 参加料 100	6,791 (10,500)	入場者等 見込数 6,000
〔事業成果〕 紅葉の美しい11月のひと月の間、「希望が丘紅葉祭」として、自然と楽しんでいただける様々なイベントを展開した。特に、かえでの森で開催した「野点」や「ミニコンサート」により、多くの県民に希望が丘独自の秋の魅力を発信することができた。				
希望が丘ファミリーフェスタ	平成29年11月11日(土)～12日(日) 1泊2日 核家族化・少子高齢化が進むなか、さまざまな世代が交流して絆を深めていたようなプログラムを実施した。	3,500～4,500	65 (87)	入場者等 見込数 120
〔事業成果〕 「森の散策」や「森の音楽会」や「ネイチャークラフト」や「木のジャングルジム」などの多くの体験活動を希望が丘の自然の中で行い、家族内や家族間の交流を図り、互いの理解を深めてもらう場を提供することができた。				

希望が丘新春まつり	平成30年1月6日(土) たこづくりワークショップとたこあげ大会のほか、参加者の願いや今年の目標を書いた連風を作り、家族でものづくりや普段はできない体験の機会・場を提供した。	400	110 (350)	入場者等 見込数 200
〔事業成果〕 新春にふさわしい「たこあげ」行事を芝生ランドで実施した。「たこづくり」によるもの作りの楽しさや家族で一緒に行う「たこあげ」が絆を深める機会となった。また、スペシャルイベントの連風あげでは120枚以上つなげた風が空高く舞い上がり広大な芝生ランドの魅力を十二分にアピールできた。				
希望が丘スプリングフェスティバル	平成30年3月24日(土)・25日(日) 日頃のご愛顧を感謝し、シイタケ菌打ち体験、シャボン玉ワークショップ、たこづくり、プーメランづくりなど幅広い年齢層の方に楽しんでいただけるイベントを開催した。	参加料 100	14,648 (8,703)	入場者等 見込数 17,000
〔事業成果〕 2日間とも好天の中、早春の公園を訪れる多くの方々に楽しんでいただける憩いのイベントとして、にぎわいの機会を演出することができた。特にシイタケ菌打ちの体験コーナーは、好評であった。				
希望が丘のびのびペインティング	平成29年4月29日(土)・30日(日)、5月14日(日)、9月23日(土)・24日(日)・平成30年3月24日(土)・25日(日) 全7回 ※5月13日(土)、10月28日(土)・29日(日)は雨天中止 大きな絵を描く経験が少ない子どもたちにチョークで地面に思いっきり絵・文字を描き、消すことを通して創造性や自主性を伸ばす機会を提供した。	100	458 (542)	入場者等 見込数 500
〔事業成果〕 地面(アスファルト)にチョークで自由に絵や文字を描き、描き終えたらバケツに水を汲み、大きなデッキブラシを使って描いた絵をゴシゴシ消すまでの体験を実施した。普段はできない体験を親子で楽しみながら、責任感が増すと理由から子ども・保護者ともに好評であった。				
希望が丘交流ひろば	平成29年5月14日(日)、9月23日(土)・24日(日)、平成30年3月24日(土)・25日(日)年間3回 延べ5回 ※5月13日(土)、10月28日(土)・29日(日)は雨天中止 フリーマーケットや物産展・食事コーナーの開設により、来園者に開放感あふれる希望が丘を堪能していただき、参加者のニーズに応えることができた。	無料 フリーマーケット出店料 3,000 テント出店料 7,500 10,500 15,000	2,907 (2,370)	入場者等 見込数 3,000
〔事業成果〕 自然豊かな環境の希望が丘文化公園スポーツゾーンにおいて、フリーマーケットや物産・食事コーナーなどを通じて、老若男女の多くの人々が集い、家族のふれあいや仲間との交流を深める場を提供できた。				

## (6) 里山ツーリズム事業

希望が丘ハイキング	平成29年4月15日(土)、6月10日(土)、9月30日(土)、平成30年2月3日(土) 年4回 四季それぞれの希望が丘周辺を歩くハイキングで、コース難易度は初級者から中級者向けの8km程度を実施した。	500	96 (138)	入場者等 見込数 160
〔事業成果〕 自然環境に恵まれた公園とその周辺地域を活用し、自然とのふれあいや環境、生態系に関する気づきや健康の維持管理が得られる場を提供することができた。親子での参加率が高くなった。				
希望が丘自然観察会	平成29年4月22日(土)、7月8日(土)、10月21日(土)、平成30年3月3日(土) 全4回 季節に応じて「春の植物」「夏のトンボと昆虫」「秋のキノコ」「水生生物」をテーマに実施。専門家を講師に招く一方で、公園サポーターの参画を促して講師を務めるなど内容の充実を図った。	300	108 (57)	入場者等 見込数 120
〔事業成果〕 各回とも単に自然観察に止まらず、講師からの丁寧な解説があり、参加者から好評を得ており満足度は高い。同じ観察場所であっても季節が変われば、観られる動植物も変化があり、「春夏秋冬」の開催を望む声も多く、今後の内容に活かしていきたい。				
クラフト&フィールドゲーム事業	通年 クラフトおよび屋外でのプログラムを施設利用者に実施する一方、イベント開催時には特設コーナーを設けて来園者に体験していただく工夫をした。	有料	5,736 (5,384)	入場者等 見込数 5,000
〔事業成果〕 施設利用者には多くの自然体験プログラムを提供することができた。他府県から大会でやってきたボーイスカウトや学童保育所などが七宝焼き等今まであまり利用がなかったクラフトに取り組んだ。代表的な焼杉から多様なクラフトを求める傾向にある。				

## (7) 連携協働事業

希望が丘自然体験フェスティバル	平成29年10月14日(土)・15日(日) 今年度から公園を単独で管理する法人「公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園」となったことの記念事業として、自然の中で様々な自然体験や野外活動プログラムを多くの方に実際に体験してもらう企画を実施した。	無料	1,581 -	入場者等 見込数 3,000
〔事業成果〕 あいにくの雨天により急きょ青年の城内の開催となったが、参加者は、自然体験や野外活動プログラムにより、文化ゾーンの活性化や自然と人のふれあいを深めてもらうことができた。参加者からのアンケートでは、ほとんどの人が満足しており、また約7割の方が初めて文化ゾーンに来園された結果となった。今回の事業実施によって、文化ゾーンの周知に大いに役立つ成果があったと思われる。				
第50回滋賀県スポーツ少年大会(共催)	平成29年8月4日(金)～6日(日) 2泊3日 滋賀県下のスポーツ少年団員を対象に、スポーツ活動、文化学習活動を通して、青少年の心と体を育てるとともに、リーダーの育成や活動の活性化を図ることを目的に開催。	※収入支出 とも共催者	141 (111)	入場者等 見込数 100 共催 滋賀県体育協会
〔事業成果〕 講義やボール・大縄跳びを使ったグループ対抗の運動会やキャンプファイヤー等を通しての団員の交流を深め資質の向上に取り組むことができた。				
滋賀県スポーツ少年団 ジュニア・リーダースクール(共催)	平成29年10月28日(土)～10月29日(日) 1泊2日 県内15,000名のスポーツ少年団員を対象に、10市郡から50名団員が集い、将来へ向けた指導者の育成を目指して継続開催した。	※収入支出 とも共催者	102 (93)	入場者等 見込数 100 主催 滋賀県体育協会
〔事業成果〕 「リーダーになるために必要なこと」、「自分があこがれるリーダー」等、グループごとにテーマを設定し、話し合ったことを模造紙にまとめて発表し、参加団員一人ひとりが自分自身の描く理想のリーダー像について学んだ。				
希望が丘アウトドアスクール	通年 専門学校の野外活動授業への講師派遣や学校団体等への体験活動指導のほか、県内大学のインターンシップ、中学校の就業体験受け入れと指導を行った。	8,000	808 (980) ※ルネスのみ	入場者等 見込数 550
〔事業成果〕 依頼先やインターンシップ生の目的を把握・理解し、実施するプログラムや体制に創意工夫した。来園することなく希望する場所で指導が受けられる点についての評価は高く、今後も依頼したいとの声がある。				

《新法人記念事業》 希望が丘キャンプカウンセ ラー・リーダーOB会	平成29年10月15日(日)  キャンプカウンセラー、キャンプリーダーの卒業生に希望が丘での再会のつど いを呼び掛け、出席者が旧交を温めながら情報交換を行った。	無料	43 (0)	入場者等 見込数  100
【事業成果】 昭和50年度から平成27年度の間にも巣立った者のうち、連絡先を把握している277名にあて追跡調査を行い、回答が得られた81名へ「再会のつどい」を案内した。 出席者は、旧交を温めるとともに情報交換を行い、人脈が今後活かされることが期待できた。				
希望が丘パークフレンド事業	通年  当公園に親しみを感じていただき、来園者・利用者の拡大を図るためにメール マガジンを月1回程度送信した。登録者のメリットとして割引優待、会員限定イベ ント(焼き芋、焼きりんご、周辺散策およびクラフトづくり)を実施した。  会員限定イベント 平成29年12月3日(日)	無料	50 (56)  登録者数 532 (984)	入場者等 見込数  100
【事業成果】 公園内の周辺散策や自然の材料を活かしたクラフトづくりを行った。また、焼き芋、焼きりんごづくりなどのプログラムを通じて、日頃メールのみでのつながりであるお 互い知らない者同士が交流を深める機会となった。				
公園サポーターの募集および 養成事業	通年  個人の持つ特技や趣味を活かして社会貢献できる場を継続的に提供し、県民 ニーズを事業展開や施設運営に活かすために実施した。	無料	57 (183)  登録者数 35 (83)	入場者等 見込数  160
【事業成果】 公園のフィールドや事業内容に魅力を感じている人が多く、登録者は明確な目的意識を持って自主的かつ積極的に活動しており、メンバー間の結束も強い。「ハイキ ング」「希望が丘自然観察会」「希望が丘新緑祭」では事業企画や当日の講師を務めるサポーターもおられ、参加から参画へと移行してきている。メンバーの高齢化が 目立つため、幅広い年齢層のサポーター募集に努めたい。				
公園総合PR事業	通年  インターネットをはじめとするITやパンフレット等紙媒体、パブリシティ活用等多 様なメディアの活用および産学官民との連携や公園利用者の活動支援により、 公園情報を広く発信し、来園者・利用者の増加を図った。	有料  ※実費負担金 徴収あり	2,551 (363)	入場者等 見込数  500
【事業成果】 IT情報発信やパンフレット等紙媒体、パブリシティ活用等により公園情報を広く一般県民へ周知し、来園者の増加を図ることができた。一方、三井アウトレットパーク竜 王からの誘いで、パーク内イベントコーナーを提供された際、積極的に公園の様々な自然体験プログラムを紹介することを通じて、公園の案内に努め、来園者・利用者 の拡大を図った。				
合計事業数	54 事業 (57) 事業	総入場者数	77,848 (98,455)	

## 2 自主事業

### (1) フィールドアスレチック事業

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者数等 人	備考
フィールドアスレチック事業	通年 会場:フィールドアスレチック場 対象:一般	大人 700 小人 350 幼児 250 共通利用 ファミリー割引	43,117 (40,122)	入場者等 見込数 36,518
<b>〔事業成果〕</b> 1年を通しての休日の晴天率が高かったことなどから増収に繋がった。特に、3月においては、昨年度を大幅に超えることができ、自然豊かな公園の特性を活かし、幼児から大人まで誰でも楽しめ、遊具で体力づくりをしながら健康増進を図ることができた。				

### (2) グラウンド・ゴルフ事業

グラウンド・ゴルフ事業	通年 会場:グラウンド・ゴルフ場 対象:一般	大人 700 学生 600 小人 300 高齢者 450 共通利用 ファミリー割引	8,865 (8,700)	入場者等 見込数 10,277
<b>〔事業成果〕</b> 平日は、県内外の高齢者や愛好家に、また土日は、家族連れや行楽のグループが主として利用し、高齢者の生涯スポーツの促進を図ると共に、仲間との交流や家族・友人同士のふれあいおよび憩いの場となっている。				
希望が丘カップ2017 グラウンド・ゴルフ月例大会 ①月例大会 ②チャンピオン大会 ③グラウンドチャンピオン大会	平成29年4月19日から 平成30年3月14日までの 毎月第3水曜日など  グラウンド・ゴルフ愛好者を対象に気軽に参加できる 月例大会を開催。	通例大会 500 チャンピオン大会 1,000 グラウンドチャンピオン大会 1,500	1,895 (1,759)	入場者等 見込数 2,460
<b>〔事業成果〕</b> 近隣のグラウンド・ゴルフ場と各種大会などにおいて参加者が競合する状況が激化している。大会前には毎回コースを新しく設定し直したことで、参加者に好評であった。また、大会参加のため、事前に練習に訪れる参加者も多くなり、常設コース利用者増につながった。				
合計事業数	3 事業 (3) 事業	入場者総数	53,877 (50,581)	

### (3) 付帯事業

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者 人	備考
物品販売等	通年 (1)物品販売 ①切手類販売 ②薪・炭生産販売 ③物品販売手数料 ④ディスク・ゴルフ ⑤特設グラウンド・ゴルフ ⑥コロバー ⑦運動用具貸出			
合計事業数	1 事業 (1) 事業			